

FCC News

2015年03月号 No. 131



Index

お客様アンケートご報告

社長コラム&社員コラム

季節のムシ暦(87)

生活の豆知識

FCC商品紹介

株式会社FCC



〒251-0043
神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32
Tel 0466-31-3164
Fax 0466-31-3174
URL <http://www.fccsystem.co.jp>
E-mail info@fccsystem.co.jp

もちろん、その他ご不安な点がありましたら、年間保守契約でございますので、お気軽にお申し付け下さいませ。

ご意見③

「蚊、クモ、ムカデ、アリなどの対策があれば教えてほしいです。」

今時期頃はこういったご意見・ご質問いただく機会が多くなってきました。アリやムカデなどの侵入害虫に対する対策として、粉剤があります。

外周に撒くことで侵入しようとする害虫に効果を発揮します。蚊は飛来してきてちょっとした窓やドアの開閉(自動ドア等)で紛れて侵入する場合があります。

弊社では、ムシボン(捕虫器)などや防虫シート、防虫カーテン等を取り扱っていますので、状況に応じてご提案させていただければと考えております。まずはお気軽にご相談くださいませ。

一部でございますが以上の様にご意見・ご指摘をいただきました。

ご意見・ご指摘は全て真摯に受け止め改善してまいります。どうぞこれからも、忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。また引き続き、皆様からいただいたご意見等をご紹介してまいりますので、重ねてよろしくお願い致します。

敬具

昨年2月よりアンケート調査を毎月行っております。引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置しておりますので、こちらをご利用くださいませ。

お客様アンケート
お問い合わせ専用FAXフリーダイヤル

見ないムシ

0120-32-3164

※一都八県以外のご利用出来ません。
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)

お取引様 各位

お客様アンケートご報告

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。毎々格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、この度は、ご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にお応えいただき、ありがとうございます。

2月分アンケート調査の結果について集計致しましたので、ご意見の一部をご紹介します。

ご意見①

「サービスマンの対応が気持ち良くって良いです。しかし、まだ効果は満足とはいえないです。あらゆる面から指摘もお願いしたいです。」

申し訳ありません。弊社としてもお客様に満足いただける様、最大限の対応を只今させていただいております。

ゴキブリの根絶には薬剤の効果だけでなく、日頃の衛生環境の維持も大切です。弊社も点検に伺った際に気になる箇所は率直にお伝えさせていただき、ともに良い環境を築き上げていければと考えております。

よろしくお願い致します。

ご意見②

「定期的な駆除が必要かと思うのですが・・・。」

こちらは新規施工に入りまして一ヶ月点検(効果測定)前のお客様よりご意見いただきました。弊社のメインに使用しているFCCコーキング剤は、一年間の効力があります。

噴霧や散布に使用する薬剤は効果が継続しない為、什器奥に潜むゴキブリまではなかなか一度の作業では根絶が難しいです。

しかし、FCCコーキング剤はその長い効力により、施工後も長くゴキブリ駆除効果があります。さらに、弊社の施工員はゴキブリの潜みやすい箇所や通り道を熟知しておりますので、店内の適切な箇所に細かく施工します。

今回ご意見いただいたお客様にも弊社の駆除方法を改めて、ご説明させていただきご理解いただきました。

ゴキブリという虫と人との戦い

私達は「ゴキブリ」と称する虫をどの程度まで、知っているのだろうか。おそらく、一応は害虫と言われているものの、ほとんどの人は、常日頃そんな事を意識してはいないだろう。

また、仮にゴキブリが害虫であったとしても、どんな「害」をもたらしているのかと問われると、即答に困る相手である。

しかし、日常生活の場で時に思いがけない事で、人々の目を惹くことがある。その最もたる事は、混入異物の「虫」という顔で、今日その存在感は極めて大きい。

その直近の例は、昨年末に起こった「ベヤング」のソース焼きそばの話である。なんでも、製品に「ゴキブリ」らしきものが混入していて、5万袋もの製品が回収された上に、暫く生産を休止するという事故だ。

また、同じ時期に日新食品冷凍でも冷凍パスタに「ゴキブリ」が混入していたとして、74万袋もの製品が、自主回収されたという。少し前頃の時代では、考えられない話である。人々は、この様な事例を耳目にするに「ゴキブリ」の怖ろしさ、問題虫である事を再認識させられる。

しかし、これらの事は人に対して直接的な苦痛を伴わないので、一つの話として終わってしまう。但し、ゴキブリの混入した「食品」は、健康被害の有無は別として、製品としては「不良品」である事には、間違いない。

また、この扱い方はその時代の社会的背景で、その状況が大きく異なるものである。面白い事は、多くの人達は家庭の台所や居間、あるいは飲食店舗などの厨房や店内で、その姿を目にすると問題視し、許し難い害虫として、退治や駆除に躍起になる事だ。

だが、このように「ゴキブリ」を問題虫にしたのは、わが国の高度経済成長期の後のことである。

生活の変化、とりわけ食の豊かさや食習慣の変化は、生活の場の問題種を昔は「イエバエ」であったものを、今は「ゴキブリ」に様変わりさせた。今日では、「ゴキブリ」の出没するような所や、そんな飲食店舗などを敬遠し、利用しなくなった。

問題種の変化に至った時代の流れは、昭和29年(1954年)から昭和48年(1973年)にかけてだと見られている。この間に起こった大きな事例といえば、昭和39年の東京オリンピックの開催や昭和49年の大阪万国博覧会の開催などであるが、これによって生活の中に熱気の漂いを感じた。

また、その間の生活の大きな変化は、「住環境」事情で公園住宅が登場し、人々の移住性を著しく改善した。それに、日常生活の「具」も電化製品が増え、カラーテレビの普及を見るなど便利さを増した。

このような快適な生活環境は「室内気象」を変化させ、それが身近な虫達の適応の場を拡げ、その種類を変えた。また、生活環境の都市型化は、人の食生活にも変化をもたらせ、これも都市型害虫と称する「ゴキブリ」を登場させた。

食生活の便利さを求める中で、「加工食品」の登場と発達、雑食性の「ゴキブリ」の生存圏の拡大を助長させた。こんな「ゴキブリ」は、不快性が高く生活の場が快適になると共に、要防除種になって家庭用殺虫剤を不可欠とするようになった。

昭和36年に「バルサン・ジェット」を称する新兵器が開発され重宝された。しかし、ゴキブリもこれに耐える技を発達させて来るので、虫との戦いは今に至る。

その攻防の歴史は、おおよそ5期に分類する事が出来るが、人の生活スタイルやその時代の社会的背景と深く関わるようだ。今日、問題のゴキブリは前述の通り、人が造り出した「害虫」なのだが、その退治方法も時代によって変化する。

人が本格的にゴキブリ退治に取り組んだのは、今から40年前頃からである。その手法は、ゴキブリを捕まえてから殺すという、「捕獲」という手段であった。

これは、ゴキブリの行動や習性を調べ、効率的に捕える手法が工夫された。色々と面白い方法、製品があったがよく知られるものには、「ローテル」や「ゴキブリ・ホイホイ」と称するものがあった。

これは「罠(ワナ)」で、ゴキブリの好む「餌」を一度入れ込んだら、脱出が出来ない仕掛けの容器に入れて、誘い込む方法である。また、この時代はゴキブリの害も「不快」であるという程度で、人も寛容で楽しんでゴキブリ退治をしていたのだ。

しかし、昭和50年代に入るとその害も目立ち始め、人はゴキブリの姿を目にしたら直ちに「殺滅」という方向に向かった。

この時代には、「アースレッド」や「コックローチS」といった製品が活躍した。また、この頃から殺虫成分にも工夫、改良が進められ「ピレスロイド」の時代を迎えた。この成分は人や動物に対する毒性は低く、ゴキブリに対して速効的なものである。

しかし人は、環境が快適さを増し、美観を求めるようになり、捕獲や姿を見て殺虫する手段では、満足が出来なくなり、根絶を目指し始め、考えついたのが、毒殺の手法だ。

これはゴキブリの好む「食物」に毒物を仕込んで、これを食べさせるという「糞殺」のテクニックだ。だが何人とも心底から喜べない、残酷な手法である。この時代に活躍した製品には、ゴキカブリ、コンバット、アースゴキブリホウ酸団子、フマキラーホウ酸団子半生などがある。大変に面白いのは、世間では「つくば科学万博」が開催され、世界の科学技術の最先端が示されている状況である。

それに比較して生活の場では、ゴキブリ退治に追われ、その為に「ホウ酸団子」が空前のブームを呼んだのが、なんと愉快な話である。人は、この様にゴキブリ退治に取り組んでいるのだが、未だに成功していない。

私達は生活レベルは向上し、科学技術の発達した中で生活しているのだが、未だに「ゴキブリ」に苦しめられている。

たかが「ゴキブリ」と言うが、その経緯は以上の通りで、とんでも無い相手なのである。さらに、冒頭で述べた混入異物の「回収」という事故。これは、食品提供関連のサービスの質にも関する事である。

食の「安全・安心」の時代、ゴキブリは大変に厄介な相手である。今一度、ゴキブリを見直して、対策を考えよう。ゴキブリ一匹というが、油断大敵である。

【写真説明】

ご存知ですか？こんな殺虫剤。
火を使用しない燻煙剤のはしりです。



生活の豆知識

万病の妙薬

皆様、こんにちは！

気温の差が激しい最近ではございますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

皆様は体調管理が難しいですが、手洗い・うがい・外出時はマスクをするなど、細心の注意を払いたいものですね。

さて今回は、健康食品の一つとして、「万病の妙薬」と言われております“りんご”の驚くべきパワーについて改めてお話させていただきます。

「一日一個のりんごは医者を選ばせる」という古くからの“ことわざ”があるそうです。

医学的にもりんごのパワーは認められており、様々な病気の予防・改善、また美容・ダイエット・アンチエイジング(抗老化療法)に効果があるとされています。

それでは、もっと細かくどのような事に効果があるのか、ご紹介させて頂きたいと思えます。

まずは、どのような病気に効果的なのかという事ですが、①高血圧、②動脈硬化、③胃腸障害、④整腸作用、⑤大腸癌の予防、

⑥コレステロールの改善、⑦抗アレルギー作用、⑧虫歯予防、⑨心臓病・心臓発作のリスク低減、⑩目の健康を保つ、などたくさんあります。

また、美容・ダイエット・アンチエイジングなどに関しましては、①シミ・そばかすなどの予防、②紫外線カット、③育毛効果、④口臭予防、⑤体重を増えにくくする、または減らす効果がある、⑥りんごポリフェノールによる抗酸化作用による老化防止、などです。

こんなに万能なりんごを食べない手はないですね！1日1個を目標に食べるのが理想ですね。

りんごには、食物繊維やビタミンC、りんごの皮には3種類のポリフェノールが含まれているそうなので、皮ごと食べてみましょう！



FCC商品紹介

FCC-eco(1.8リットル)

ECO



1本2,764円(税込)

微生物の力で野菜から車まで様々な場面で使用出来るエコロジー洗浄剤です。生活排水などに含まれる洗剤や油などを分解します。

植天然素材を使用しており環境への影響も少なく、汚れだけではなくカビや臭いにも効果を発揮します。

植天然素材を使用しており環境への影響も少なく、汚れだけではなくカビや臭いにも効果を発揮します。

FCCオリジナルエコ商品の販売や、衛生に関する店長ブログなどもあります！

気になった方は

seishin-jinpu.com

検索